



女性学のパイオニアである

東大名誉教授 上野千鶴子

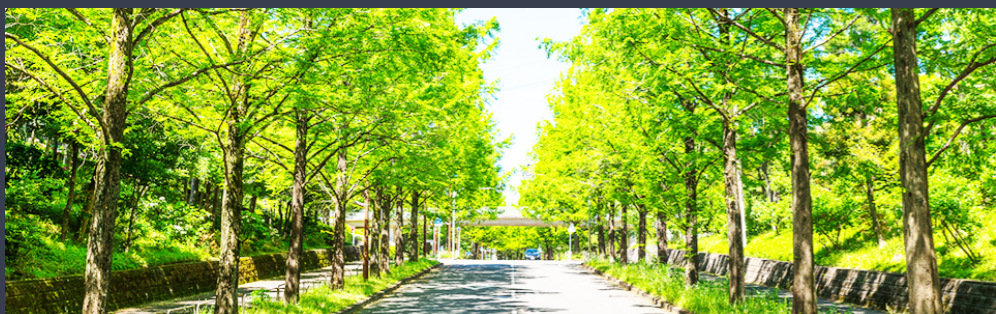
学びは究極の極道

認定NPO法人 大阪府高齢者大学校
入学式にて

プロフィール(Wikipediaより)

日本のフェミニスト、社会学者。専攻は、家族社会学、ジェンダー論、女性学。東京大学名誉教授。NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク (WAN) 理事長、日本社会学会理事、元関東社会学会会長、日本学術会議会員、シュール大学アドバイザー、「ヘイトスピーチとレイシズムを乗り越える国際ネットワーク」共同代表

京都大学時代は全共闘活動家だったが、闘争のバリケードの中でも女性差別を経験したという



大阪府高齢者大学校誕生秘話

橋下府政から始まった？ 行革路線と補助金カット
強いられた自立 結果オーライの自主運営
ヒモがつかない 自由と責任

高齢者に必要なもの

きょうよう、きょういく、 社会参加のメニュー
スポーツ、エンタメ、趣味、観光、旅行、外食、交際...

研究は究極の極道

研究に定年はない 「わかった！」喜びが最高の報酬
達成感、向上心 幾つになっても成長できる実感

～ 水 (老人会) と 油 (高学歴退職者)

勉強 = 正解ひとつ 大学 = 正解がない

ふたつの教育

生産財(飯の種)としての教育 (学歴・資格・免許等)

消費財としての教育 (学びのための学び)

～ のびしろの実感はよるこび サヨナラ学校化社会 ～
教育のクオリティに対する要求水準はどちらが高いか？

当事者研究がもたらした経験知 (熊谷晋一郎)

自立とは依存先の分散である

～ 自分は何？ 人に助けてもらいたい事ができればいい

自律autonomy と 自立independence の違い

自律は依存の不在ではない

研究テーマから得られたもの

三大動機：人生リセット、学び、出会い、

人脈:利害関係のない同性・異性の学友たち

生涯の学び/社会貢献活動

得た人脈は選択縁 選択縁の定義

強制力がなく、加入・脱退が自由で、包括的コミットメントを要求しない
脱血縁・脱地縁・脱社縁の人間関係→絆より縁

人格の定義

所属する中間集団における役割の総和
中間集団 複数・多元的 帰属が一面で部分的
帰属集団のあいだのコンパーメンタライゼーション(隔離と操作)
～ 右手と左手であることを分ける
→アイデンティティのリスク管理！あちらがだめならこちらがあるさ

女縁の七戒

夫の職業は言わない、聞かない
子供のこと・自分の学歴を言わない
お互いに「奥さん」と呼び合わない
お金の貸し借りはしない 女縁をカネもうけの場にしない
相手の内情に深入りしない

縁は男あるか？

あるが...利益誘導の下心がある
利害なくとも覇権(パワー)ゲーム
社縁社会を再生産する傾向 君子の清遊は役に立たない
男女共学縁は可能か？
女縁に男性も参入するのが現実的→共学化
カップル参加は妻が避けたがる
日常のへその緒つき参加 VS 選択縁は非日常の変身空間
夫は夫の、妻は妻の、選択縁がそれぞれ共学化する？
→→ 配偶者以外の異性がいる！

めだかの学校方式

誰が生徒か先生か...教わるのも教えるのも好き 人材のプール

学びは一生

ビギナーコースからアドバンスドコースへ 合宿や修学旅行も
アウトプットを共有 成果物を発信する コストがかからない
さらに超高齢化対策へ(寝たきりでも参加できるしくみ)→ICTの活用

